

広域的地域活性化基盤整備計画 木曾・伊那・飯田地域(事業区分: 広域連携)

1. 地域の現状と課題

【現状】

木曾、伊那、飯田地域は、中山道の宿場町、天竜川、中央アルプス、南アルプスを抱える観光地である。平成4年をピークに観光入込客数が減少傾向にあり、地場産業でもあるIT産業の出荷額も伸び悩んでいる状況にある。

交通結節点となる三遠南信自動車道は、平成20年に天竜峡ICまで開通している。

【課題】

本地域においては、三遠南信自動車道が天竜峡ICまで開通したことにより、広域観光拠点である御岳山麓、旧中山道の宿場町、中央アルプス、天竜峡、南アルプスの魅力をさらにアピールし、観光振興を図る必要がある。

【整備方針】

- ・ 旧高遠町周辺の高遠城や南アルプスの玄関口である戸台地区等との連携強化
- ・ 屋神温泉、天竜峡、山間部に点在する温泉施設との連携強化
- ・ 妻籠宿周辺の季節を通しての観光振興

2. 計画の目標

三遠南信自動車道の天竜峡インターチェンジ開通及び供用区間の延伸計画にあわせて広域観光拠点観光施設へのアクセス強化をし、地域の活性化を図り、広域的観光の活性化を目指す。

3. 事業の内容

【計画の期間】 平成19年度～平成23年度(5年間)

【事業実施主体】 長野県

【計画の成果目標】

| 計画の成果目標 | (現況値) | (目標値) |
|------------|-------------|-------------|
| 屋神温泉宿泊数 | 80万人(H17) | 85万人(H20) |
| 高遠観光施設来訪者数 | 35万2千人(H16) | 38万7千人(H22) |

【事業の主な内容】

基幹事業 : 道路事業 11箇所

提案事業 : 地域自立・活性化活動推進事業 4箇所
地域自立・活性化基盤整備事業 5箇所

【箇所数と事業費】

| | 県 | 民間 | 計 |
|------|--------------|------------|--------------|
| 基幹事業 | 11箇所 16.31億円 | - | 11箇所 16.31億円 |
| 提案事業 | 7箇所 0.63億円 | 2箇所 0.27億円 | 9箇所 0.90億円 |
| 計 | 18箇所 16.94億円 | 2箇所 0.27億円 | 20箇所 17.21億円 |

※事業費は精算額としているため、整備計画の事業費とは合わない場合があります

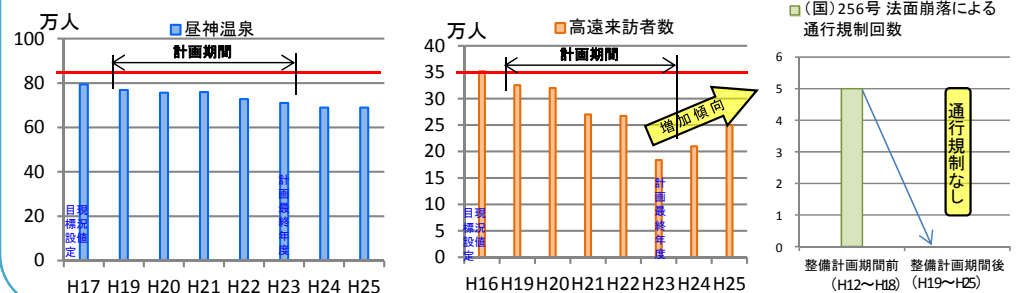
4. 事後評価の結果

【目標値の達成状況】

| 計画の成果目標 | (目標値) | (実績値) |
|------------|-------------|-------------|
| 屋神温泉宿泊数 | 85万人(H20) | 76万人(H20) |
| 高遠観光施設来訪者数 | 38万7千人(H22) | 29万9千人(H22) |

■事業効果の発現状況

- ・ 屋神温泉宿泊数及び高遠観光施設来訪者は減少しており、ガソリン価格高騰、国内景気の後退や東日本大震災の影響が大きいものとみられる。
- ・ 国道152号、256号、418号や(都)下山妙琴原線の道路拡幅等によりアクセス性や安全性が向上した結果、地域全体の観光客数は近年、増加傾向がみられ、観光産業の活性化に寄与したものと評価できる。
- ・ 国道256号屋神～七々平の法面対策により、事業前は7年で5回発生していた法面崩落による交通規制が、事業後は0回となり、観光客の安全な通行に寄与した。
- ・ 道路拡幅箇所4箇所が供用開始し、改良率が向上した。(1.22km、0.1%)
- ・ 安全対策等が7箇所完了し、観光地への安全な通行が確保された。



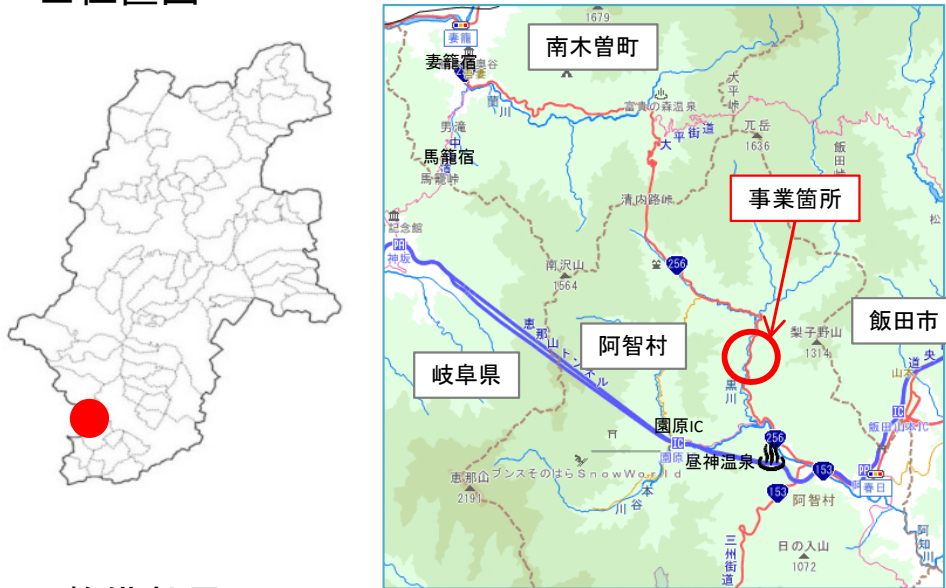
5. 評価と今後の方針

- ・ ガソリン価格高騰、国内景気の後退や東日本大震災の影響があり、目標値に達していないが、近年の木曾伊那飯田地域全体の観光客数は増加傾向がみられ、道路整備によるアクセス性や安全性の向上が広域的な観光活性化に寄与したものと評価できる。
- ・ 次期計画の策定にあたっては、目標値の達成状況等を検証し、整備方針に反映させていく。

整備効果事例

事例① 道路防災事業 (国)256号 阿智村 屋神～七々平

■位置図



■整備効果

整備前



既設法枠のコンクリートが剥離し
鉄筋が露出する危険な状況

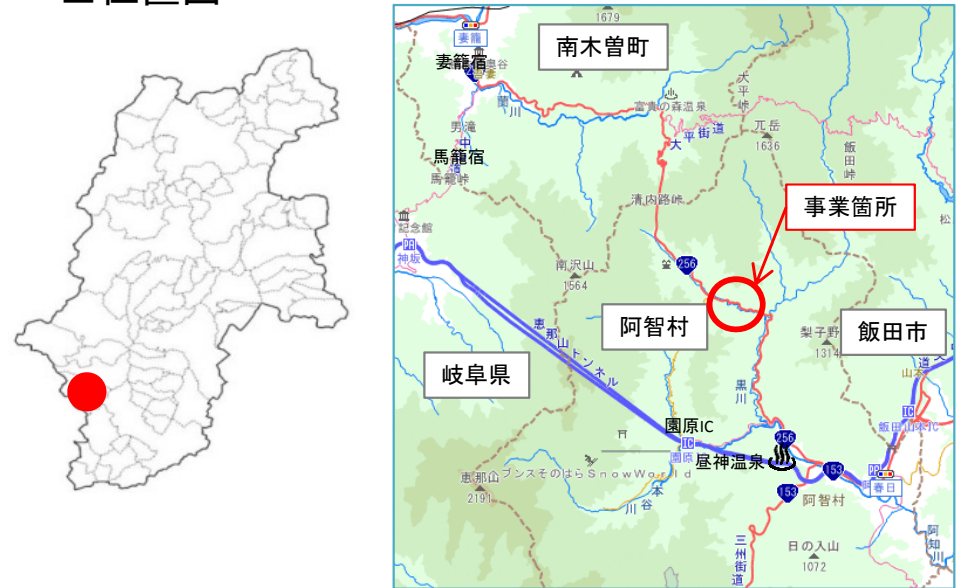
整備後



施設の修繕により、観光地間の
安全な通行を確保

事例② 道路改築事業 (国)256号 阿智村 上清～黒川橋

■位置図



■整備効果

整備前



道幅が狭く、大型車の
すれ違いが困難

整備後



道路の拡幅により、観光地間の
円滑な通行を確保

整備効果事例

事例③ 交通安全事業 (国)152号 伊那市 溝口

■位置図



■整備効果

整備前



道幅が狭く、歩行者が危険な状況

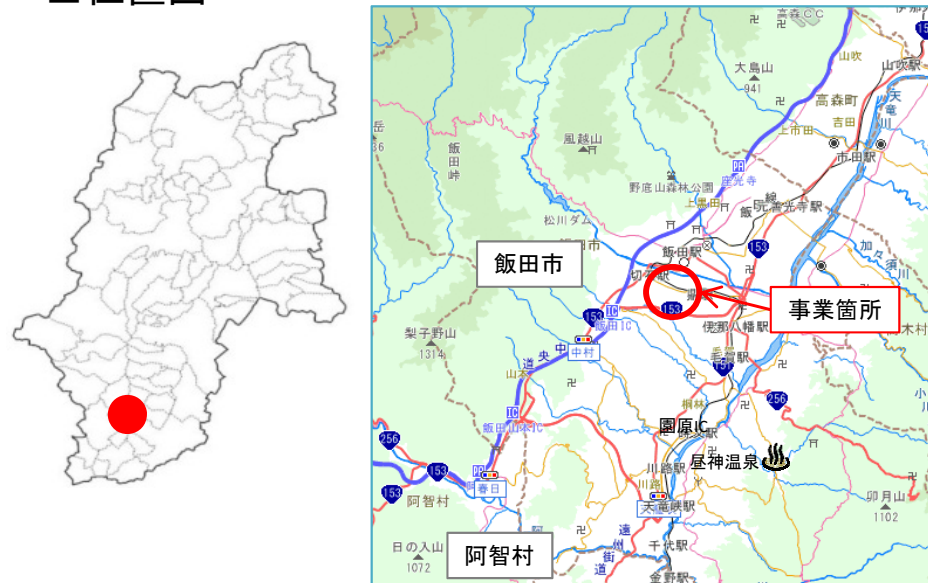
整備後



歩道の設置により、安全で円滑な通行を確保

事例④ 街路事業 (都)下山妙琴原線 飯田市 上山

■位置図



■整備効果

整備前



道幅が狭く、車両のすれ違いや歩行者の安全な通行に支障

整備後



道路の拡幅により、安全で円滑な通行を確保